

令和6年10月 9日

九州地方整備局

## 「令和7年度 発注者支援業務等の発注における技術提案評価テーマ（留意点）」の事前公表について

翌年4月から履行を開始する発注者支援業務等（発注者支援業務、公物管理補助業務、用地補償総合技術業務）の発注手続き期間は、土木コンサルタント等業界の繁忙期と重なっており、中でも入札公告から技術提案書提出までは、年末年始を跨ぐ期間となります。

これらの状況を踏まえ九州地方整備局では、下記のとおり、令和7年度発注者支援業務等の技術提案評価テーマ（留意点）を事前に公表して技術提案書の検討期間を拡大し、各社の入札参加意欲の向上による競争性の確保、技術提案内容のさらなる充実化及び各社の負担軽減を図ります。

### 記

#### 1. 対象業務

令和7年4月に履行を開始する九州地方整備局発注の以下の業務（港湾空港関係業務を除く）

- 発注者支援業務【積算技術、工事監督支援、技術審査】
- 公物管理補助業務【道路許認可審査・適正化指導、河川巡視、河川許認可審査、ダム管理、堰・排水機場管理】

#### 2. 技術提案評価テーマ（留意点） 別添一覧表のとおり

### 【問い合わせ先】

九州地方整備局 代表電話番号：092-471-6331  
直通電話番号：092-476-3546

九州地方整備局 企画部 技術開発調整官 コバヤシ 小林 ヒデノリ 秀典（内線：3120）

技術管理課長 エグチ 江口 ヒデノリ 秀典（内線：3311）

技術管理課 課長補佐 マツシタ 松下 ケンジ 憲司（内線：3314）

## 令和7年度 発注者支援業務等の技術提案評価テーマ(留意点)

業務種別	R7年度	
	留意点	判断基準
河川巡視支援業務	業務対象河川の河川巡視における、河川管理施設ならびに許可工作物の状況を適切に把握するための実施方法及び着眼点について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。
		《実現性》 河川管理施設及び許可工作物の状況を適切に把握するための実施方法について、提案内容に説得力があり、優れている場合に優位に評価する。
河川許認可審査支援業務	申請書(新規・変更・更新)内容の技術的な審査にあたっての着眼点及び留意事項について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。
		《実現性》 各種申請書等の技術的な審査方法について、その法令の適用における留意事項が適切である場合に優位に評価する。
ダム管理支援業務	業務対象ダムの出水時(事前放流を含む)における的確な業務実施、体制確保に向けた着眼点及び留意点について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅され、優れている場合に優位に評価する。
		《実現性》 出水時(事前放流を含む)における的確な業務実施のための具体的な取り組み(実施内容、情報伝達、組織体制(バックアップ体制・人材育成等))について、提案内容に説得力がある場合に、優位に評価する。
排水機場管理支援業務 堰管理支援業務	操作施設の日常点検ならびに実操作を実施する上での着眼点及び留意点について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。
		《実現性》 業務対象施設の特性を踏まえた点検ならびに実操作時の着眼点及び留意点について、具体的に説得力がある場合に優位に評価する。
道路許認可審査・適正化指導業務	道路占用物件における審査指導の留意点について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点・問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。
		《実現性》 道路占用物件において審査指導する立場の留意点について、具体的に記載されている場合に優位に評価する。
道路許認可審査・適正化指導業務 【特殊車両審査関係】	特殊車両通行許可申請において、組織的な事務処理能力の向上を図るための取り組みについて	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点・問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。
		《実現性》 組織的な事務処理能力を向上させるために、受注者として取り組む内容が具体的に記載され、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
積算技術業務	現場条件等を踏まえ、適切に施工条件等を設定するための工夫と留意点について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。
		《実現性》 現場条件等を踏まえ、適切に施工条件等を設定するための工夫と留意点について、提案内容の有効性が高い場合に優位に評価する。
技術審査業務	働き方改革への対応と技術審査の品質確保を両立させるための取り組みについて	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。
		《実現性》 働き方改革への対応と技術審査の品質確保を両立させるための取り組みについて、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
工事監督支援業務 A	工事における品質確保・向上を図るための具体的な方法と留意点について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。
		《実現性》 工事における品質確保・向上を図るための具体的な方法と留意点について、提案内容の有効性が高い場合に優位に評価する。
工事監督支援業務 B	工事における「いきいき現場づくり」を実践するための取り組み事項とその方法について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。
		《実現性》 工事における「いきいき現場づくり」を実践するための取り組み事項とその方法について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。

※工事監督支援業務については、発注者が入札公告時に2テーマの中から任意に設定する。